

## 5 地域で活躍するボランティア

### 平群町おはなしの会

**\*活動開始** 1987年8月1日結成

平群町公民館教室「おはなし講座」の受講終了生により、毎月の勉強会を開始。現在11名で活動中。主な活動場所は、町立図書館、保育園、幼稚園、小学校、子育て支援センター、保健福祉センター（プリズムめぐり）、などです。



町立図書館でのおはなしのへや

### \*活動内容

◎お話の勉強会（毎月1回）

◎おはなし会 {お話の素語り、絵本の読み聞かせ、手遊び、パネルシアター、エプロンシアター、紙芝居など}

◎ストーリーテラー養成講座の開催協力

◎ブックスタートボランティア養成講座の開催協力

◎奈良県おはなしネットワークの事業に参加



**\*これから目指すこと** “どの子にもよい本を” をモットーに「お話の素語り」や「絵本の読み聞かせ」を通して、読書の楽しさを伝え、子どもと本のかげはしとして、子どもの読書活動推進の一翼を担います。勉強会や講演会を設け、常に本の知識や技量の向上を図ります。学校・園などから要請があれば、おはなし会の出前をし、広くボランティア活動を行います。おはなし大会で県内各市町村のおはなしの会と情報交換をして学び、活動に繋がります。又、ストーリーテラー養成講座や、ブックスタートボランティア養成講座の開催に協力し、子どもの読書環境づくりを目指します。



としゃかんひろばでエプロンシアター



ブックスタート養成講座

### プリズムめぐり図書コーナーボランティア

**\*沿革** 平成11年8月より、「町立図書館がほしい」と望むメンバーが、今地域で役に立つことをしようと、プリズムめぐり図書コーナーの整備充実に協力することになりました。活動メンバーは現在7名です。



プリズムの絵本コーナー

**\*活動内容** 図書コーナーの本は、主に献本を受けていますが、これまで、森田福祉財団、大和証券福祉財団などの助成を受けて、図書コーナーの充実に努めてきました。乳幼児親子のために絵本をそろえています。町立図書館のイベント「夏休みとしゃかんひろば」に参加しています。



としゃかんひろばで大型紙芝居

**\*これから目指すこと** 今までの活動はもちろんのこと、選書するのも広い視野で選んで、利用者の方に喜んでもらえるよう努力したいと思います。夏休みとしゃかんひろばで恒例になっている大型紙芝居にも力をいれていきたいと思っています。

### 平群町図書館づくり友の会

**\*沿革** 平成9年10月に平群町に図書館をつくることをめざして、会員30名で発足しました。「図書館がほしい」と願う住民の賛同をいただき、会員は200名を超え、大きな声となって平成18年1月には、旧診療所を改装して図書館ができました。現在は、214㎡と小さな図書館で、図書館を育てながら、町規模に合った図書館づくりを目指して60名で活動しています。



としゃかんひろばでポンポン作り

**\*活動状況** 毎月1回定例会を開いています。去年は映画会を開き、多数の方にご参加いただきました。その他、あすのす開館記念の講演会や落語会、夏休みのとしゃかんひろばでの小物作り、古本市や秋の文化祭でのバザー（収益は町立図書館の図書購入費へ）など、図書館を側面から支える活動をしています。

**\*これから目指すこと** 赤ちゃんからお年寄りまで2万人の町民の生涯学習の場である図書館建設を目指し、住民の意見を尊重する本格的な図書館を強く要望する活動を続けます。

## さわる絵本の会 ポピー

**\*沿革** 平成9年社会福祉協議会の支援の元に出発しました。1年に1タイトル(同じ本を2冊)を目標に、またあわせて、布の絵本を作ることもあります。

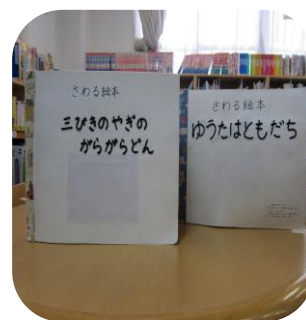
**\*活動状況** 視覚障がいのある子どもたちが、さわって楽しめるように、絵の部分をぬいぐるみを薄くした形に工夫しています。文章は点字と、弱視の子どもたちのための大きな墨字の両方で書いています。出来上がった絵本は、町立図書館やプリズムへぐりの図書コーナーに置いています。

夏休みととしょかんひろばにも毎年参加し、アイマスクを着けてさわる絵本を体験してもらっています。

定期的に視覚支援校や京都ライトハウス等に貸出し、展示会にも出展してきました。ひょうご芸術文化センターの「手作りの絵本展」では、手作り絵本部門で賞をいただきました。

東日本大震災後、大槌町保育園に絵本バッグ120枚、釜石市幼稚園に手作りマスクとさわる絵本3冊を送付しました。またさわる絵本は、視覚障がい者だけでなく、老人健康施設などでも利用されています。

**\*これから目指すこと** 1人の子どもに対して、さわる絵本は今ある絵本の数から見れば、限られた冊数です。少人数ですが、楽しみながら作り続けていければと思っています。



さわる絵本(表紙)



さわる絵本(開いたところ)



バリアフリー展での展示



としょかんひろばでアイマスクをつけて

## 点訳サークル どんぐり

**\*沿革** 平成8年に社会福祉協議会主催の点訳初級講習会の終了後、平成9年に修了生を1期生として、点訳サークル「どんぐり」を20名ほどで活動開始。現在は12名で活動中。

### \*活動内容

- ・点字の絵本、点図やグラフを入れた教材、読み物を中心に点訳
- ・町内で依頼がある手紙、福祉会等の総会資料
- ・社会福祉協議会デイサービス利用者への点図カレンダー製作
- ・あすのす「夏休みとしゃかんひろば」、平群町ボランティア連絡協議会「竹あかりのつどい」啓発、点字体験コーナー協力
- ・さわる絵本の会「ポピー」依頼の絵本の点訳
- ・町内、四小学校への「視覚障がいの方への理解・点字体験」の総合学習のお手伝い

1冊の本を点訳するには、少なくとも2～3回の校正作業を行うため、時間がかかります。以前は点字盤やタイプでの作業でしたが、今はパソコンを使いスピーディーになりました。点訳方法やレイアウトを考え、間違いの無い物で、原本に忠実に・・・でも読者に読み易い点訳を心掛けています。

**\*これから目指すこと** 視覚障がい者のことを知ってもらうため、いろんな所でお話し、点字やアイマスク等の体験を通して、理解を深めてもらえるよう活動を続けて行きたいと思います。



としゃかんひろばで、点訳体験



小学校で点字・白杖体験

## あすのすボランティアサポーター

**\*沿革** 平成17年1月のあすのす平群（平群町観光文化交流館・町立図書館）の開館以前から、ボランティアサポーターが募集され、公民館図書室からの図書の運び込みなどの作業を行いました。一年間の登録制で、毎年年度末にボランティア登録をします。現在は男性14名、女性25名で活動中です。



としょかんひろばで折り紙

**\*活動内容** 毎週2回集まり、主に図書資料の装備、修理を行う他、図書登録、返却スリップの日付刻印、その他イベントの準備、設営、参加、年末の大掃除など多種多様にわたる図書館のサポートをしています。平成23年度の光交付金による学校図書館支援事業には、多くのボランティアが連日学校図書館に足を運び、子どもたちのために汗を流しました。

**\*これから目指すこと** 町立図書館だけではなく、保育園、幼稚園、小学校、中学校の図書・図書館の充実には人の力が不可欠です。ボランティアサポーターは図書館業務の縁の下の力持ちとして、これからもますます幅広い活動をしていきたいと思えます。メンバーは、シニアが中心ですが、世代を超え、地域と図書館を結ぶ活動をする中で、やりがいを感じながら、楽しみながら参加していきたいです。



パーラービーズ教室のお手伝い



学校図書館支援事業で図書の選別中